

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2026 年 4-6 月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は 353 社から回答があった。景況判断 DI は▲20 となり、前期調査から 2 ポイント悪化した。来期の見通しは▲16 となり、4 ポイント改善する見込みとなっている。

経営上の問題点の回答割合は、「修理、修繕費等の増加」の回答割合が最も高く、「従業員の不足」、「人件費の増加」の順となっている。

.0

以下、その他業況感 DI の内訳

前期(2026 年 1-3 月)に対して、

- ・売上高 DI は▲14 で、7 ポイント悪化
- ・処理量 DI は▲17 で、1 ポイント改善
- ・営業利益 DI は▲15 で、10 ポイント悪化
- ・資金繰り DI は▲3 で、1 ポイント悪化
- ・借入難易度 DI は 15 で、5 ポイント改善
- ・設備投資 DI は▲3 で、7 ポイント悪化
- ・従業員数 DI は 8 で、11 ポイント改善
- ・契約単価 DI は、収集運搬が 16 で、4 ポイント改善
処分が 19 で、8 ポイント改善

○ 売上高の動向については、前年同期比で 24.9%減となった。

○ 処理量の動向については、前年同期比で 7.8%減となった。

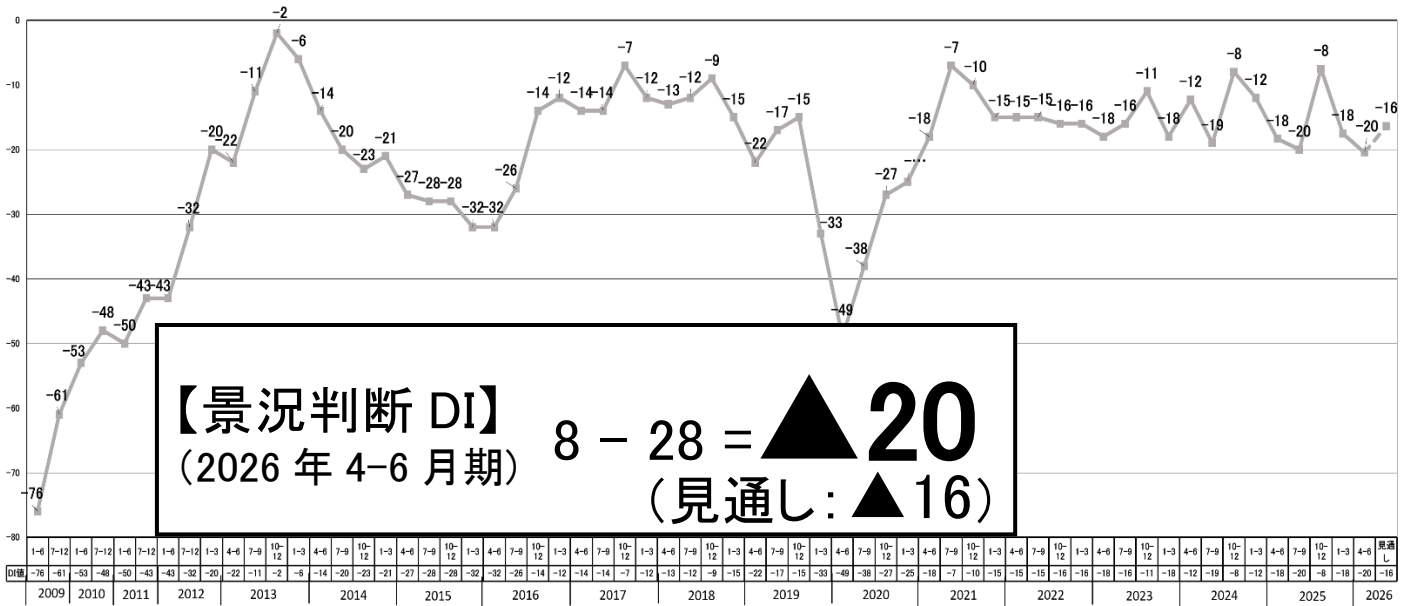
○ 経常利益率については、前年同期比で 0.6%減となった。

※DI とはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

〔調査の要領〕

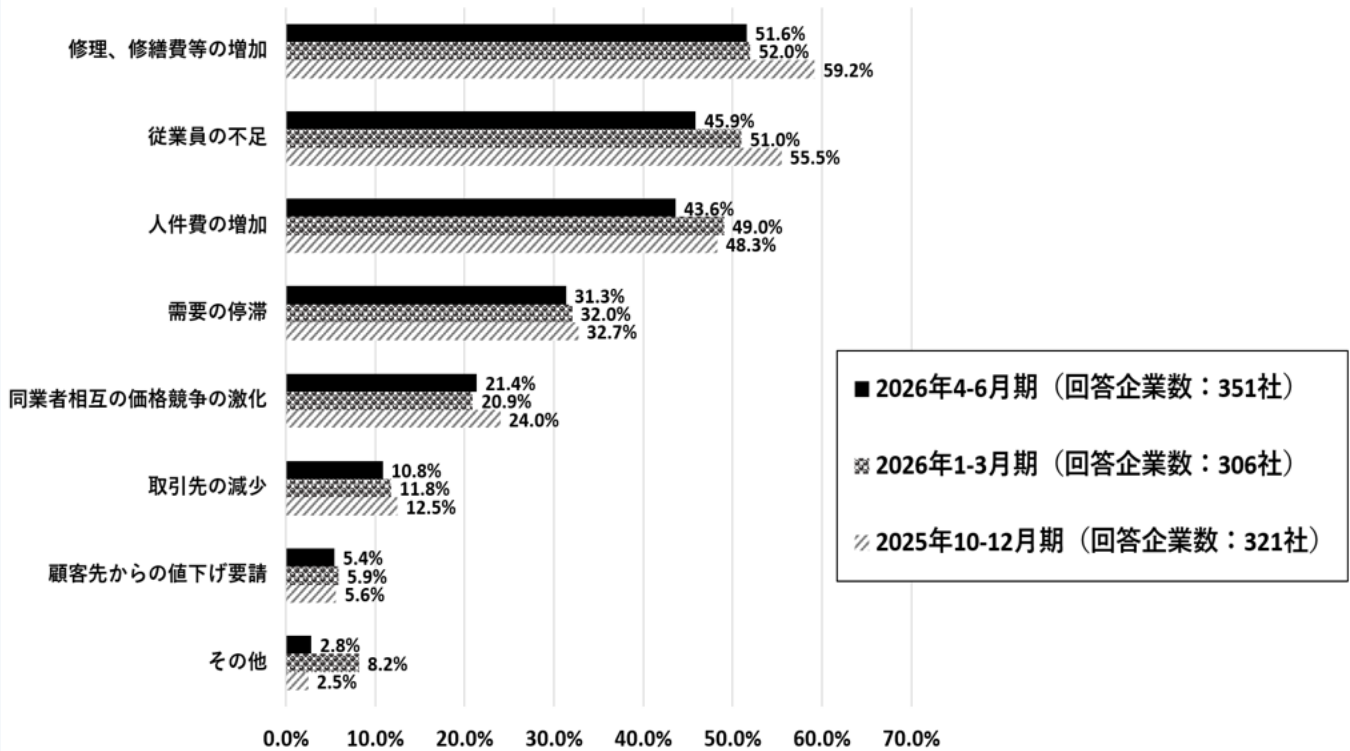
- 全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法:Web によるアンケート
- 調査期間:2026 年 7 月 1 日～7 月 31 日
- 回答企業数:353 社

景況判断DI(2009年1-6月期～2026年4-6月期と見通し)

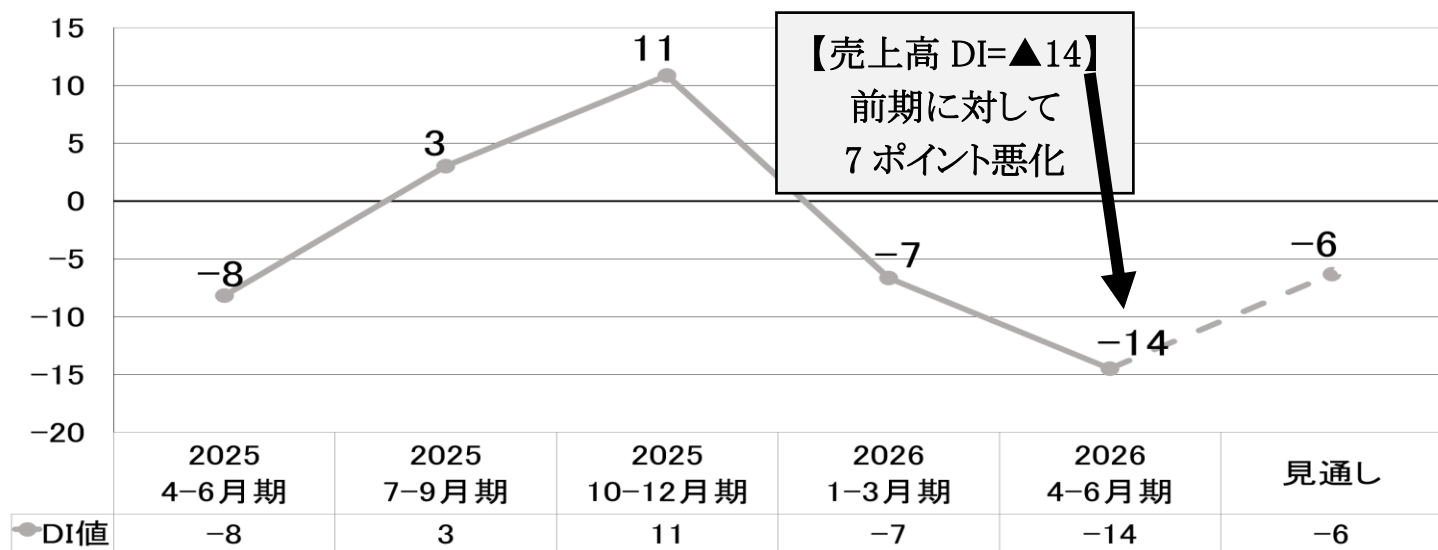


経営上の問題点(複数回答可)

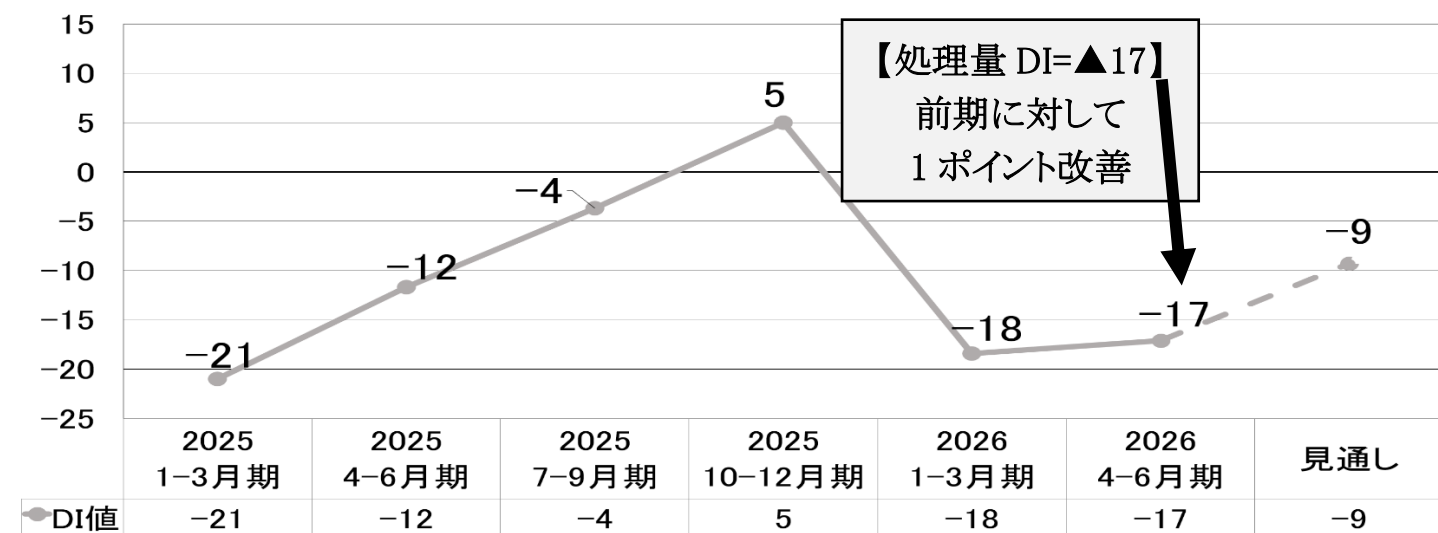
<2026年4-6月期（回答企業数：351社）>



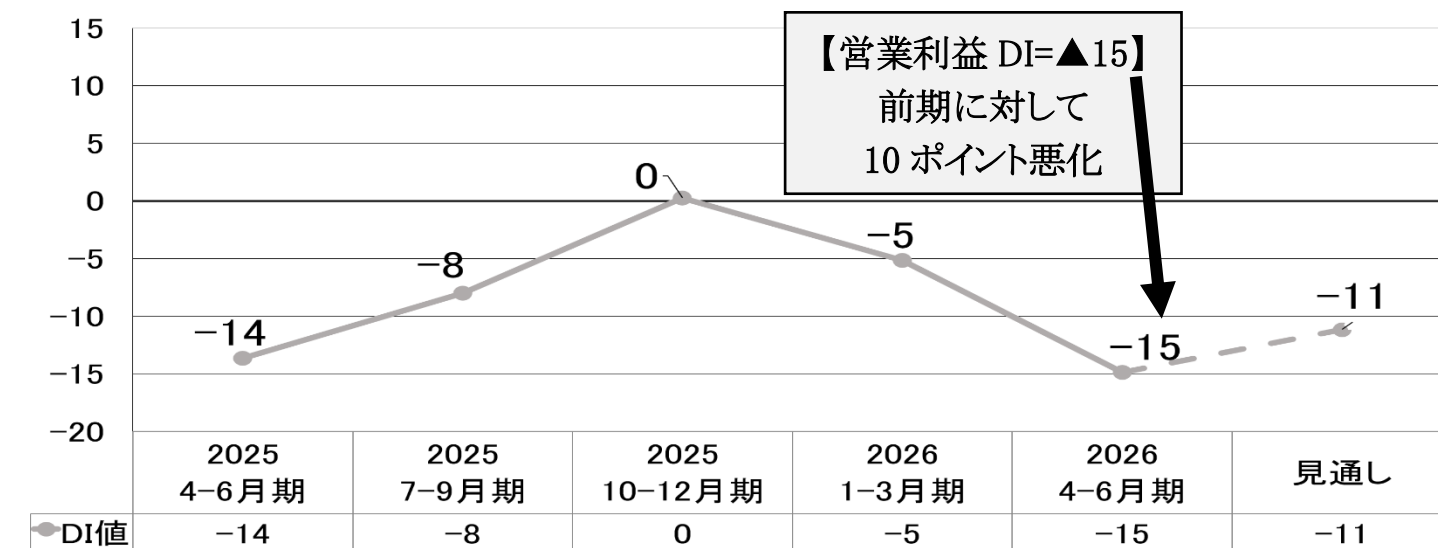
売上高DI (2025年4-6月期～2026年4-6月期と見通し)



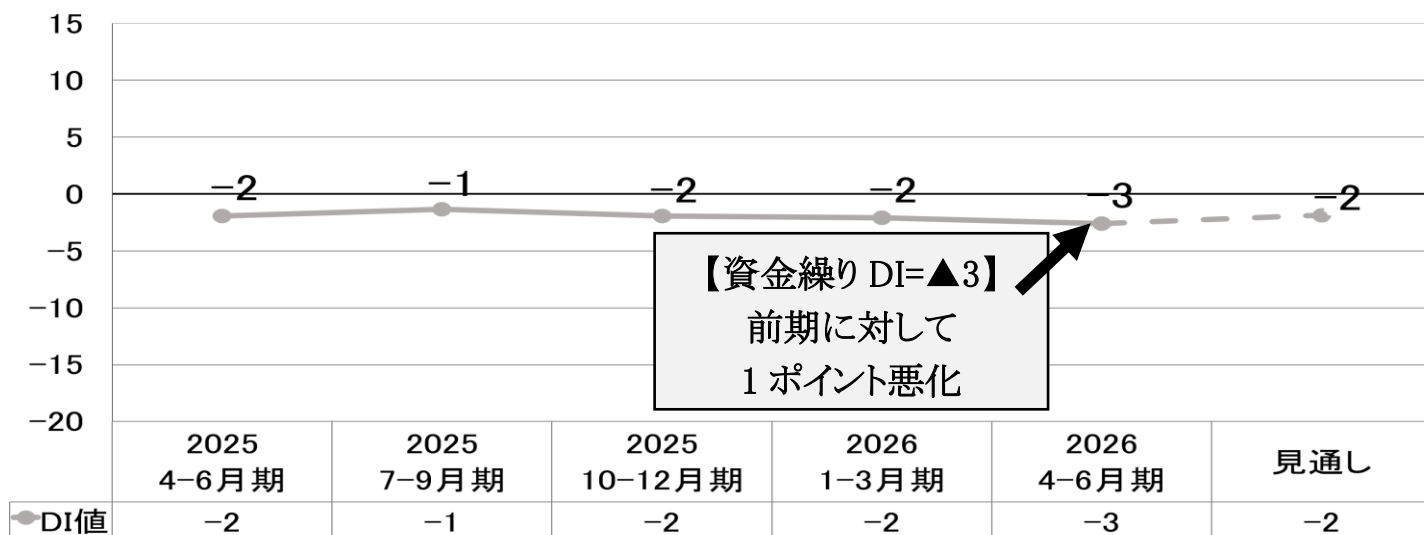
処理量DI (2025年4-6月期～2026年4-6月期と見通し)



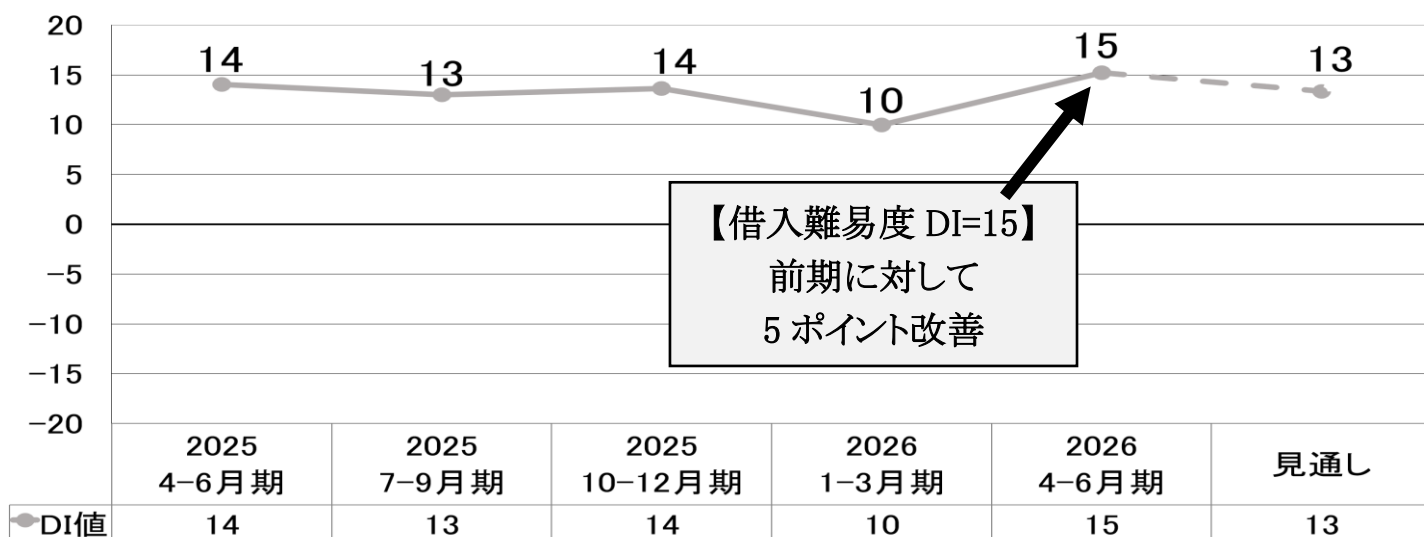
営業利益DI (2025年4-6月期～2026年4-6月期と見通し)



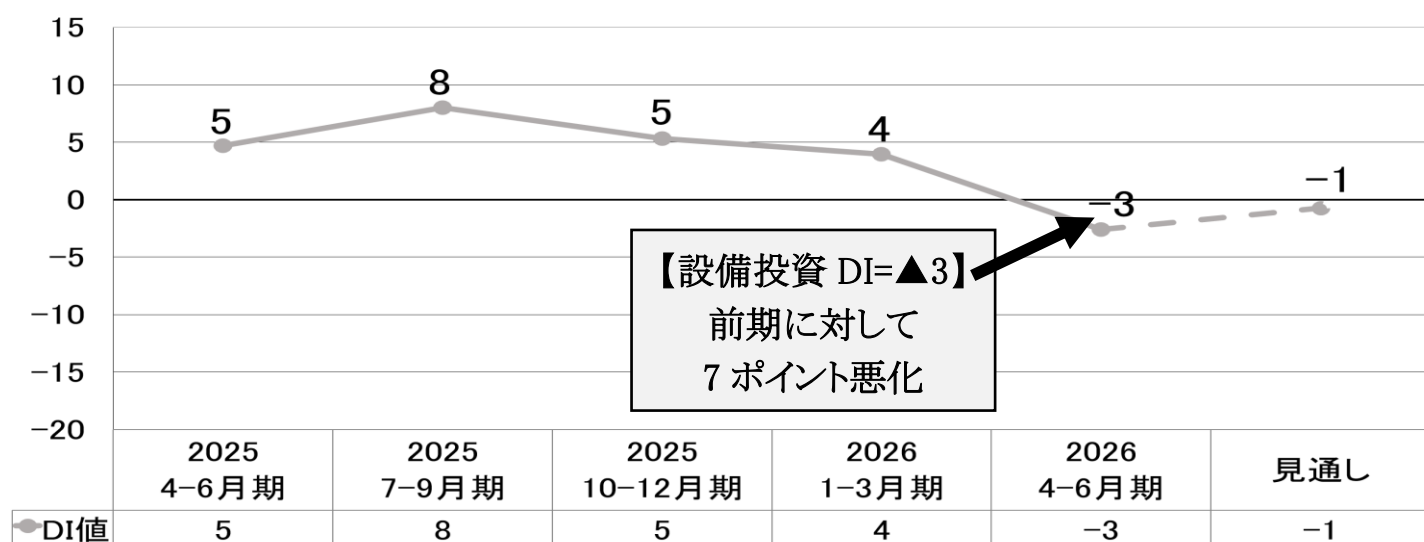
資金繰りDI (2025年4-6月期～2026年4-6月期と見通し)



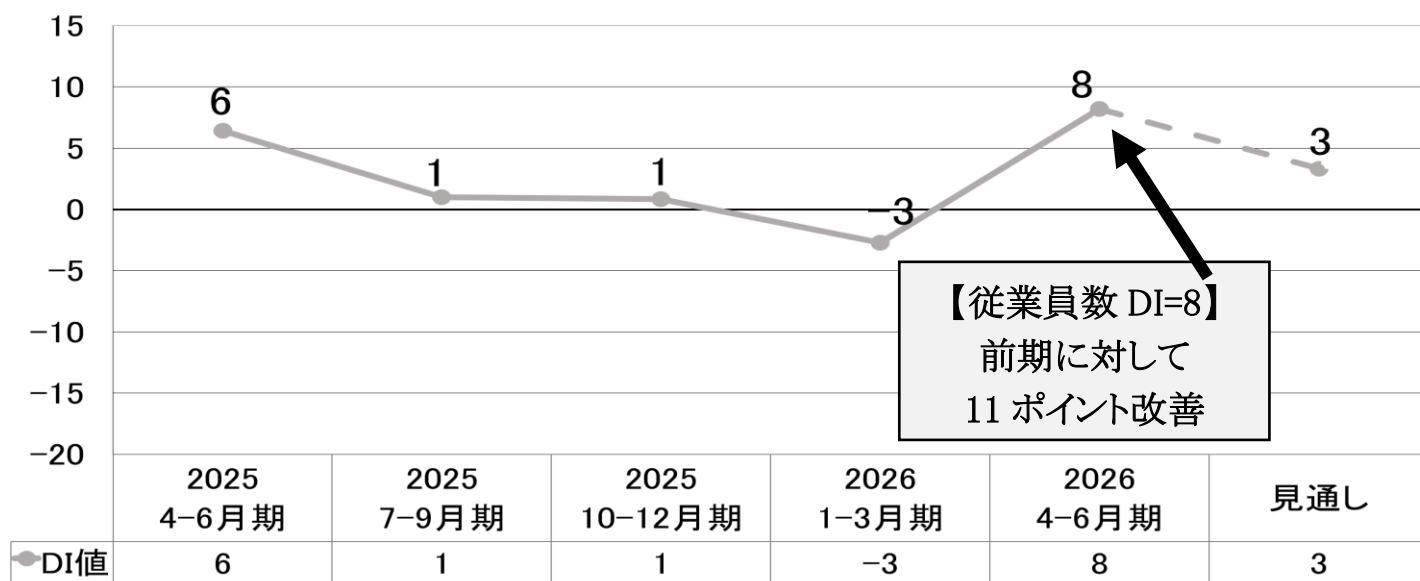
借入難易度DI (2025年4-6月期～2026年4-6月期と見通し)



設備投資DI (2025年4-6月期～2026年4-6月期と見通し)



従業員数DI (2025年4-6月期～2026年4-6月期と見通し)



【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】

